

コーキ封筒株式会社

「2024年度」環境経営レポート

(活動期間: 2024年1月～2024年12月)



作成日 2025年3月10日

改定日 2025年4月22日

ごあいさつ

コーキ封筒株式会社は”信頼”を不変の企業理念とし、封筒の製造・販売をもって取引先、社員、そして地域に貢献してまいりました。

封筒に込められた心温まるメッセージが、一人でも多くの人々へ届けられることを願いとしております。

そこで、メッセージを発信する人々が、そしてそのメッセージの到着を心から楽しみに待っている人々が、いつまでも平和に暮らせる環境作りへの取り組みを始めました。

エコアクション21の活動を通じ、環境に優しい商品を全社一丸となって提供できるよう、”魅力ある環境”をテーマに社内、地域、地球の環境改善し、信頼される環境経営を目指します。

コーキ封筒株式会社

代表取締役社長 鴨谷 仁



コーキ封筒株式会社 環境経営方針



当社は封筒の製造・販売を主たる業務としています。

「全社一丸となって環境に優しい製品作りを実行する」を目標に、環境保全に積極的・継続的に取り組み実施可能な限り、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減を図ることを環境経営方針とする。

1. 全社員が環境保全を徹底し、省エネルギー、省資源、リサイクル活動を推進する。
2. 環境に関連する法規制その他の要求事項を忠実に遵守する。
3. 社内で5S運動を展開し、働き易い快適な職場環境作りに努める。
4. グリーン購入の推進に積極的に取り組む。
5. 水資源利用量の削減に積極的に取り組む。
6. 製品に関する環境配慮に取り組む。
7. 化学物質の適正管理に努める。

制定日 2006/7/31

改訂日 2024/3/10

代表取締役社長 鴨谷 仁

1. 登録事業所の概要

[1] 事業者名及び代表者名
 コーキ封筒株式会社
 代表取締役社長 鴨谷 仁

[2] 所在地
 本社・工場 〒584-0023 大阪府富田林市若松町東3丁目7番8号
 東京営業所 〒103-0021 東京都千代田区内神田3丁目2番12号
 第二倉庫 〒583-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目5番61号
 ＊対象範囲は全社

[3] 環境保全関係の責任者及び担当連絡先
 責任者 本社管理部 部長 杉原 正規
 担当者 本社管理部 部長 杉原 正規
 連絡先 TEL 0721-25-7210(代)
 FAX 0721-25-9484

[4] 事業内容
 封筒の製造及び販売

[5] 事業の規模 (令和6年12月末)
 製品出荷額 1,300百万円(令和6年12月末)

主要製品生産量 1,845トン(令和6年12月末)

従業員 60名
 (内訳) 本社 56名
 東京営業所 4名

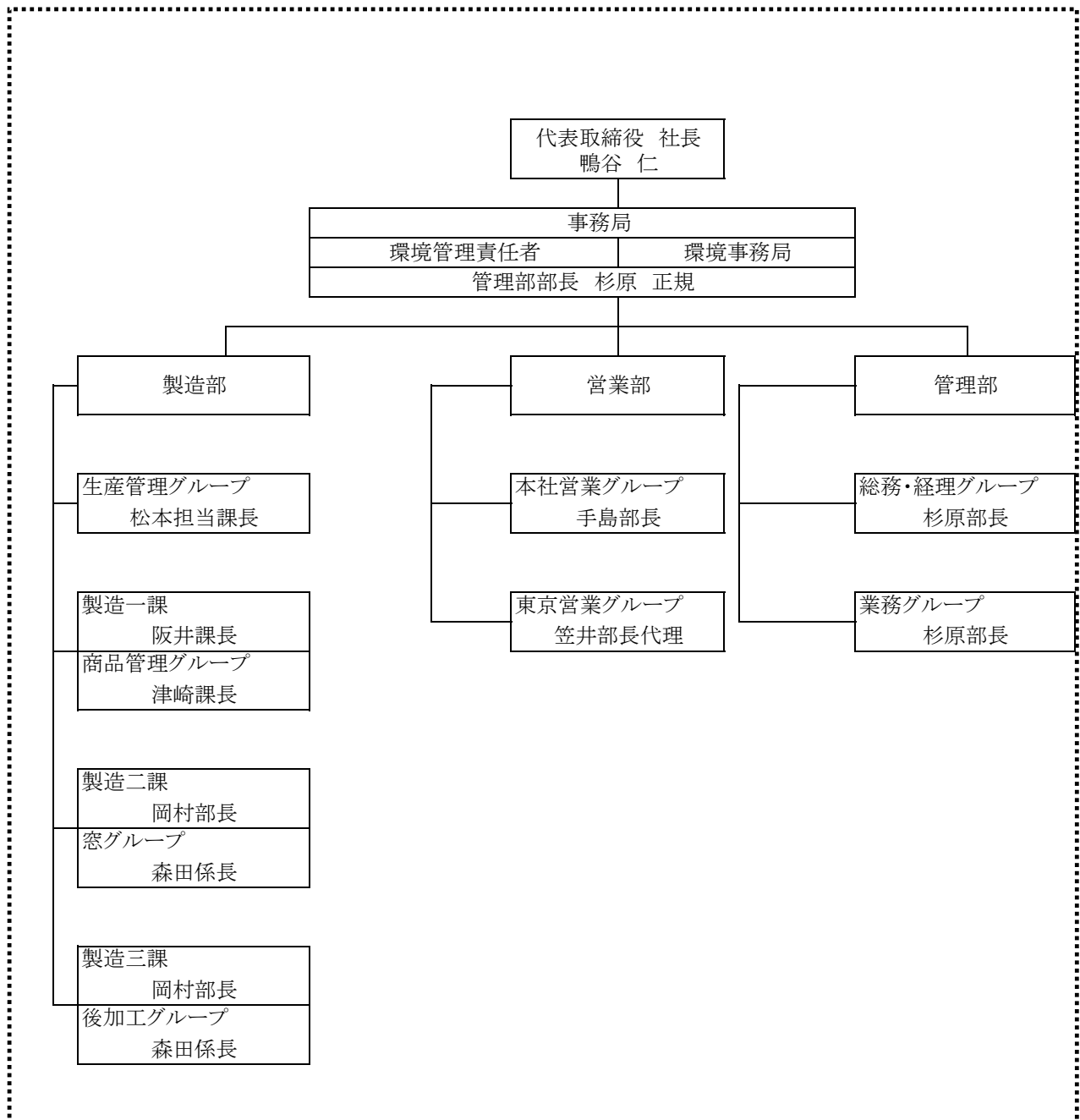
工場延べ床面積 6,372m²
 第二倉庫 2,145m²
 東京営業所 58m²

[6] 事業年度 1月～12月



[7] 実施体制図及び役割・責任・権限表

<実施体制図>



< 役割・責任・権限表 >

役割・責任・権限	
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能技術者を準備 ・環境管理責任者を任命、責任及び権限を定め、各自の役割を全従業員に周知 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・全体の評価および課題とチャンスを確認し、環境管理責任者に必要な指示を出す ・環境経営レポートの承認 ・実施体制の構築 ・経営資源を用意をする
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の開催 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
電力使用量	kg-CO ₂	268,200	273,801	281,094	288,272	273,307
(生産量)原単位	kg-CO ₂ /生産数(千枚)	0.84	0.86	0.88	0.89	0.85
排出係数	kg-CO ₂ /kWh	0.318	0.318	0.318	0.318	0.318
自動車燃料	kg-CO ₂	24,453	21,231	22,846	22,464	23,410
(生産量)原単位	kg-CO ₂ /生産数(千枚)×100	7.68	6.71	7.18	6.95	7.32
都市ガス	kg-CO ₂	21,514	18,937	20,485	25,419	24,780
(生産量)原単位	kg-CO ₂ /生産数(千枚)×100	6.76	5.98	6.43	7.86	7.75
総CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	314,178	313,828	324,425	336,155	321,498
(生産量)原単位	kg-CO ₂ /生産数(千枚)×100	0.99	0.99	1.02	1.04	1.01
廃棄物排出量						
一般廃棄物排出量	総量(t)	0.390	0.327	0.315	0.306	0.295
水使用量	m ³	939	978	1,058	1,031	1,056
(生産量)原単位	kg-CO ₂ /生産数(千枚)×1000	2.95	2.84	3.32	3.24	3.41
生産量	生産数	318,368	316,636	318,370	323,011	319,794

3. 環境経営目標及びその実績

年度		2019年	2024年		2025年	2026年
項目		基準値	目標	実績	目標	目標
電力の削減	使用量(kWh)	843,997	801,797	859,456	793,357	784,917
	生産量原単位	2.98	2.83	2.69	2.80	2.77
自動車燃料の削減 (ガソリン+軽油)	使用量(l)	9,930	9,433	9,422	9,334	9,234
	生産量原単位	35.10	33.34	29.63	32.99	32.64
都市ガスの削減	使用量(Nm ³)	11,487	10,912	11,753	10,797	10,682
	生産量原単位	4.05	3.84	3.68	3.80	3.76
総CO ₂ の削減 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO ₂)	317,022	301,170	321,498	298,139	294,830
	生産量原単位	1.12	1.06	1.01	1.05	1.04
一般廃棄物の削減	総量(t)	0.390	0.303	0.295	0.292	0.289
	目標:前年比▲1%					
節水	使用量(m ³)	1,320(2018年)	1,254	1,056	1,240	1,227
	生産量原単位	8.77	4.23	3.41	4.16	4.11
製品に関する環境配慮	受注件数	809(2018年)	849	1,188	856	863
グリーン購入の推進	購入品目(%)	47%	50%	66%	50%	50%
5S運動	工場パトロール	月次目標の推進	月次目標の推進	月次目標の推進	月次目標の推進	月次目標の推進

◎水使用量と製品に関する環境配慮については、2019年度が異常値であったため、2018年度基準とした。

◎自動車燃料は軽油とガソリンの合算です。

◎一般廃棄物の目標設定は2011年度より、前年実績－1%に設定している。

◎電力のCO₂排出係数は、2019年度以降、0.318kg-CO₂/kWhを固定している。

◎生産量原単位は生産枚数あたりで算出している。

4. 環境経営活動の取組計画と評価、次年度の取組内容

数値目標の評価区分:

両方達成・・・○、 片方達成・・・△、 両方未達成・・・×

取組み計画	達成状況	評価並びに次年度の取組
電力の削減 ・昼休みの消灯 ・不必要事務所エリアの消灯 ・エアコンの温度設定 夏28℃、冬20℃ ・作業効率の向上で残業を減らす ・節エネ設備への更新推進	目標: 801,797kWh/年 (2019年度比△5%) 実績: 859,456kWh/年 生産量原単位 目標: 2.83 (5%減) 実績: 2.69 達成率: 105%	目標達成状況: △ 目標値未達成、生産量原単位で目標達成 例年同様目標値は未達成、生産原単位は達成とい う結果に終わった。今期は生産数が微減した。それ に比例し使用量も昨年より減少したが、目標値には 届かなかった。来期の目標は使用量・原単位を基 準値より6%マイナスに設定している。現在更なる作 業の効率化を推進し、残業の大幅削減による電気 使用量の抑制を目指している。
自動車燃料の削減 ・アイドリングストップ等のエコドライブ運動 の実施 ・営業車、配送車の訪問ルート of 効率化 推進	目標: 9,433ℓ/年 (2019年度比△5%) 実績: 9,422ℓ/年 生産量原単位 目標: 33.34 (5%減) 実績: 29.63 達成率: 112%	目標達成状況: ○ 本年度も目標値、生産量原単位ともに目標達成す ることができた。日々の営業活動や配送活動の中 で、環境意識が定着していると感じる。来期の目標 は使用量・原単位を基準値より6%マイナスに設定 している。来期は営業社員も増員する予定なので、 今まで以上に営業車・配送車の無駄をなくし削減の 努力を継続していく。
都市ガスの削減 ・エアコンの温度設定 夏28℃、冬20℃	目標: 10,912Nm ³ /年 (2019年度比△5%) 実績: 11,753Nm ³ /年 生産量原単位 目標: 3.84 (5%減) 実績: 3.68 達成率: 104%	目標達成状況: △ 本年度も前年に引き続き目標値は未達成、生産量 原単位は達成という成績であった。来期の目標は 使用量・原単位を基準値より6%マイナスに設定し ている。ガス空調設備が老朽化していることもあり、 来期こそは設備の更新も考え、またこまめにエアコ ンを節約し目標値、原単位ともに目標達成を目指 す。
総CO₂の削減 ・空調の温度管理 ・エコドライブの徹底 ・工程管理の効率化	目標: 301,170kg-CO ₂ /年 (2019年度比△4%) 実績: 321,498kg-CO ₂ /年 生産量原単位 目標: 1.06 (5%減) 実績: 1.01 達成率: 104%	目標達成状況: △ こちらも目標値は未達成ながら、生産量原単位は 達成できた。 生産数は微減したが、退職等による残業時間の増 加、猛暑の影響などが要因で目標値に届かなかっ たと思われる。来期の目標は使用量・原単位を基準 値より6%マイナスに設定している。来期は製造部 員も増員し、電気・ガス・ガソリン等の各項目の節約 を徹底し目標達成を目指す。
一般廃棄物の削減	前年: 0.315t/年 目標: 0.311t/年 (前年比△1%) 実績: 0.306t/年 達成率: 101%	目標達成状況: ○ 日常の廃棄物の削減意識は定着しており、毎年着 実に減らせている。来期の目標は前年実績より6% マイナスに設定している。ただしどうしても一定の廃 棄量はあるので、来期も工夫して古紙で販売できる ものはできるだけ販売し更なる削減を目指す。
節水 ・節水表示 ・止め水確認徹底 ・ミスト設備の効率運用	目標: 1,254m ³ /年 (2018年度比△4%) 実績: 1056m ³ /年 生産量原単位 目標: 4.23 (5%減) 実績: 3.41 達成率: 124%	目標達成状況: ○ 目標値、生産量原単位とも目標達成できた。日常 の地道な努力が実を結んだものと考えられる。来期 の目標は基準値より6%マイナスに設定している。 来期も引き続き無駄を省き、地道なエコアクション活 動を継続する。

製品に関する環境配慮 ・グラフアン窓(紙窓)の受注数 ・プラスチック透明窓から紙窓への移行推進	目標: 849件/年 実績: 1,188件/年 目標: 71件/月 実績: 99件/月 達成率:139%	目標達成状況:○ 本年度も目標値を大幅に超えることができた。去年同様時代の潮流がエコ製品(紙窓封筒・紙ファイルなど)に向いており、後押しされた状態が良い結果を生んだ。来期の目標は基準値より6%マイナスに設定している。引き続きエコ製品の受注活動に努める。
グリーン購入	対購入比率 目標: 購入比率50.00% (基準値5%増) 実績: 購入比率66% 達成率:114%	目標達成状況:○ 本年もグリーン購入は目標を達成できた。来期の目標は基準値より6%プラスに設定している。来期も引き続き積極的な購入に努める。
5S運動 ・月間目標と行動推進 ・5S職場改善計画の実施	・月間目標の活動推進の実施 ・職場毎小集団活動 ・ポスター掲示 ・朝礼啓蒙	目標達成状況:○ 月次目標を設定、社員啓蒙を実施 ・月次朝礼時の啓蒙推進 ・グループ毎のOJT活動 ・推進告示の定期的実施
化学物質の適正管理 ・化学物質の使用量の把握 ・SDS管理	・化学物質の使用量を管理している。 ・SDS管理	・外部委託で印刷された原材料紙を入荷しており、当社で印刷するのは、自動押印程度で少ない。いくつかPRTR法対象物質があり、年間使用量を把握している。 届出が必要なものはありません。

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

関連法規制	該当する設備項目・基準	遵守状況	評価
騒音規制法	空気圧縮機 11kW、7.5kW、5.5kW、各1台 3.7kW×4台	騒音測定結果(2024/12/20自主計測) 昼61dB、朝58dB、夜49dB	適
廃棄物処理法	・一般廃棄物 ・産業廃棄物 紙裁断屑(有価物)	紙屑は有償で引き取り願ひリサイクルされている	適
下水道法	自主規制 放流規制 45℃以下 pH5.8～8.6	高温水や有害物質排出禁止	適
フロン排出抑制法	業務用空調機 25台	簡易点検の実施:2024年1月、4月、7月、10月	適
消防法	消火器・屋内消火栓・自動火災報知器・避難・機器の点検	2024年10月点検	適
労働安全衛生法	エレベータ 4台 フォークリフト 5台	年3月点検 各定期法定点検実施 異常なし	適
自動車NOxPM法	トラック1台軽油	車検時届済	適

その他の違反、関係当局からの違反、訴訟等の指摘は、過去3年間は一切ありません。

6. 代表者による全体の評価と見直し

コーキ封筒は、エコアクションの環境経営システムを有効に実施して、魅力ある環境作りに努めます。そのために、環境保全に積極的に取組み、CO2排出量を削減することを目指します。自社で解決できる課題や取組みについて、すべての項目について生産量原単位での目標を達成しています。生産数量が増えるとCO2の総排出量削減は非常に難しくなりますが、社員全員の努力によって目標達成に向けた活動が来ています。また社外に対しては、小学生の社会見学受入を通じて、広く環境問題についての提案が来ており、サステナブルな社会作りに貢献出来ていると評価します。

代表取締役社長 鴨谷 仁

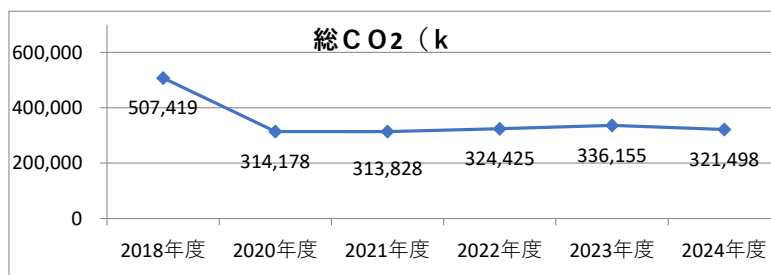
変更 必要性 有無 無し

7. これまでの環境活動の主な取組

(1) 総二酸化炭素排出量の推移

・総CO2(電力、自動車燃料、都市ガス)

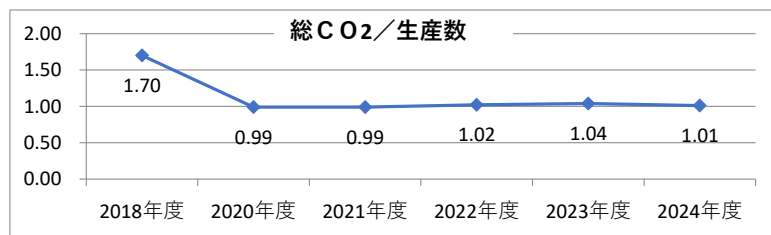
	総CO2(kg)	電力のCO2排出係数
2018年度	507,419	0.522kg-CO2/kWh
2020年度	314,178	0.318kg-CO2/kWh
2021年度	313,828	0.318kg-CO2/kWh
2022年度	324,425	0.318kg-CO2/kWh
2023年度	336,155	0.318kg-CO2/kWh
2024年度	321,498	0.318kg-CO2/kWh



(2) 総CO2/生産数(原単位)の推移

・総CO2(電力、自動車燃料、都市ガス)

	総CO2/生産数(千枚)	電力のCO2排出係数
2018年度	1.70	0.522kg-CO2/kWh
2020年度	0.99	0.318kg-CO2/kWh
2021年度	0.99	0.318kg-CO2/kWh
2022年度	1.02	0.318kg-CO2/kWh
2023年度	1.04	0.318kg-CO2/kWh
2024年度	1.01	0.318kg-CO2/kWh



(3) エコアクション21の主な取組とSDGs

エコアクション21の主な取組	SDGs
1. 電力の削減 ・照明のLED化 ・不必要エリアの消灯 ・エアコンの温度設定 ・ブラインド、カーテン利用による熱の調節 ・節エネ設備への更新	 
2. 自動車燃料の削減 ・アイドリングストップ等エコドライブの推進 ・営業車、配送車の訪問ルート効率化	 
3. 一般廃棄物の削減 ・紙類の分別化と不要原紙の再利用 ・書類の電子化による紙の削減 ・裏紙のリサイクル化	
4. 節水 ・節水表示 ・止め水確認徹底 ・ミスト設備の効率運用	
5. 製品に関する環境配慮 ・グラフエン窓(紙窓)付封筒の受注拡大 ・プラスチック透明窓から紙窓への移行推進	  

